年間授業計画　新様式例

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科　　国語　　科目　古典探究

教　科：　国語　　科　目：　古典探究　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組～　　5 組

教科担当者：

使用教科書：（ 大修館書店　精選　古典探究　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】・国語の豊かな表現や言葉について的確に理解し、適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】・自分の考えが的確に伝わるように、文章の構成や展開を工夫することができる。

【学びに向かう力、人間性等】・さまざまな文章に接することで、生活や人生についての考えを深め、人間性を豊かにしようとする。

科目　古典探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・古人の豊かな情操にふれる。 ・個人の価値を尊重し創造性を培う。 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 ・仏教的無常観にもとづく、筆者の考えについて理解を深める。 ・当時の人々にとっての和歌の扱われ方、和歌の修辞法について正しく理解する。	用言の活用についての復習 随筆『方丈記』行く河の流れ 説話『十訓抄』大江山いくのの道	○		○	【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ア】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。【(1)イ】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古	○	○	○	10
						【知識・技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。【(1)エ】 ・古典などを読むことをとおして、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている。【(1)イ】 ・「読むこと」において、問いをもった事柄に関連するさ	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。	物語『堤中納言物語』 虫めづる姫君		○	○	【知識・技能】 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【(2)エ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。【(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・先人のものの見方や感じ方に興味をもち、自分のものの見方や感じ方を豊かにしようとしている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
2学期	・想像力を養い、豊かな情操を培う。 ・他国の文化を尊重するとともに、我が国の伝統文化への興味・関心を喚起して理解を深める。 ・「自然」「旅情」「別離」「憂愁」「自適」のテーマにふれ、生命を尊び、自然を大切にする態度を養う。 ・漢語の特色を活かして緊密に構成された韻文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 ・「師弟」「本性」「自然」「法律」のテーマにふれ、主体的に 社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。	漢文訓読についての復習 旅情（磧中作／峨眉山月歌／早発白帝城／登岳陽楼） 本性（不忍人之心／人之性悪／性猶湍水也）		○	○	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。【(1)イ】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。【(1)エ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。【(1)ア】 ・「読むこと」において、書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展	○	○	○	18
	・古人の豊かな情操にふれる、 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。	歴史物語『大鏡』競べ弓 物語『源氏物語』光源氏誕生	○		○	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。【(1)イ】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【(1)ウ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【(1)ウ】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。【(1)カ】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	13
	・古人の豊かな情操にふれる。 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。	物語『源氏物語』光源氏誕生 物語『雨月物語』浅茅が宿	○	○	○	【知識・技能】 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。【(2)ウ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することをとおして、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。【(1)ク】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典に興味をもち、多角的な視点から言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。				18 合計 80